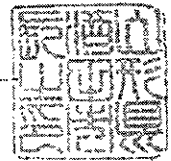


酒 土 発 第 191 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

酒田市長 阿 部 寿



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号でご依頼のあった標記について、
別紙のとおり回答いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山形県酒田市

(高速交通網のネットワーク化)

道路は国民生活や社会経済活動にとって最も基幹的な社会資本整備であることは今更言うまでもありません。特に国土の骨格を形成する高規格幹線道路網をネットワークとして完成させることが国策として最重要課題と言えます。

高齢化や人口減少が進んでいる地域を活性化するためには、生活や産業、観光など様々な分野での交流連携を進める必要があり、道路ネットワークはまさにその基礎的な社会基盤であります。特に、国土の骨格を形成する高規格幹線道路の整備は最重要課題であります。

本市は日本海に面し、山形県唯一の重要港湾「酒田港」を有する広域物流拠点となっております。環日本海時代を支える重要な役割を担う地域であり、日本海沿岸東北自動車道の全線開通は、陸・海運の連携により地域経済の発展に大きく期待するものであります。

日本海沿岸東北自動車道は、日本海国土軸の根幹に位置付けされており、日本海側の大動脈ともなっております。当地域が飛躍的に発展するためには、豊かで活力ある地域づくりを進める広域交流、連携を加速する高速交通網の整備が最大の課題となっております。特に秋田、新潟との両県境部分など未整備区間のネットワーク化は国策として整備を進めるべきと考ええるものであります。

(整備主体の役割分担)

国と地方の役割分担という観点からすれば、通行車両一台当たりのトリップ長が長い道路、複数の都道府県にまたがる道路は国の責任で整備するという方針を示し、「道路整備が一段落した」という大都市地域の道路は財政的に豊かな大都市自治体の自主性・主体性を発揮できるようにした方が国全体から見ても効率的であります。このことは大都市と地方の格差を是正し、近郊ある国土の発展にも繋がるものと確信するものであります。

(重点化を進める政策)

国全体の物流、人の移動の主力となっている幹線道路網を国家戦略として整備すべきであり、日本海沿岸東北自動車道など国土交通の根幹をなす道路の未事業区間は「早期に事業化が必要な区間」と位置付け、世論の喚起とともに早期完成を目指すことが重要であると考えます。

重点化を進める上で次の点に配慮していただきたい。

- ・災害時において代替となる路線。また平常時であっても救急医療等、「命を守る」ライフラインとして整備をし、「陸の孤島」となり得る地域の解消。
- ・費用対効果(B/C)といった単純指標にとらわれず、地方と大都市地域の均衡ある発展で国家的な視点での目標設定が必要。

(地方幹線道路網の整備)

鉄道やバスなどの公共交通機関が発達していない本市のような地方都市においては、自動車交通への依存度が高く、一家に一台でなく、一人に一台車がなければ生活や経済活動に支障を来す現状です。幹線道路のネットワークを確立することによって地域の活性化が図られ、また、高齢化が進むなか、高度医療施設へのアクセス強化を図り、安全で安心して生活できる環境づくりには、道路網の整備は必要不可欠であります。

(その他意見)

道路特定財源は道路整備の原動力となっているが、道路交通に依存せざるを得ない地方での税負担割合が高い現状であります。受益者負担で成り立つ財源であり、今後は地方の道路整備に重点をおいて反映されるべきである。

平成の合併の議論が巻き起こる前には、市町村はフルセットで医療施設や文化スポーツ施設などを整備し、それぞれに国が財政支援してきました。今後、一つの市町村がフルセットで施設整備をすることが、ますます困難になるとしても、行政は住民の生活を守らなければなりません。このような状況に対処するためとして、例えば、地方都市間、地方都市と周辺町村との道路整備を進めていくなれば、広域市町村での施設の共同整備・利用の推進が図られ、さらには市町村合併の推進が図られると考えられます。

このことは即ち、地域住民の暮らしを守りながら、施設整備、市町村維持などに対する国の財政支援を削減する可能性を開くことに他なりません。

②-1 地域の現状と抱える課題

山形県 酒田市

○現状	○課題
(高速道路の現状) * 高速道路(東北横断自動車道酒田線、日本海沿岸東北自動車道)は、日本海沿岸及び太平洋側の地方都市との連携と交流を促進するとともに、連携軸の形成を促進し、国内の均衡ある発展に資するものである。 ①日本海沿岸東北自動車道は、現在、温海IC～鶴岡JCT間是新直轄方式で整備が進められているが、新潟、秋田県との両県境区間が依然基本計画のままである。 ②東北横断自動車道酒田線は一部を除いて平成13年8月までに供用開始しているが、月山IC～湯殿山IC間は依然基本計画のままである。 (地域高規格道路の現状) ①余目酒田道路は整備が進められ、早期完成が望まれているが、立川余目間が依然基本計画のままである。 (地域内の道路ネットワークの現状) 高規格道路網に加え地域を縦断する国道345号、地域を横断する国道344号など、新市全域が継続して発展する均衡ある道路ネットワークの整備が必要である。 (福祉と道路管理予算の状況) * 介護保険など福祉部門での市町村の役割が増大している。特に、高齢化の進展が著しい地方においては、市町村の財政負担が年々増大しています。 このことにより、地方の市町村では市町村道の維持管理にかかる予算の確保も年々困難になっている。 国の方針として、福祉部門での市町村の役割を拡大するとするならば、同時に市町村の道路管理に係る国の財政支援の充実が必要である。	…高速道路の利用を促進するためには日本海沿岸東北自動車道や東北横断自動車道酒田線の全線開通が待たれる。 …当地域の幹線国道である国道7号は車一台当たりのトリップ長が極めて長く、まさに日本海側の物流の大動脈である。このような現状からすれば、国道7号と平行して整備されるべき日沿道が山形と新潟・秋田県境部分で基本計画のままとなっており、本市の経済活動に大きな支障となっている。 …庄内地方と他地域を結ぶ国道7号は、秋田県・新潟県境で代替路線がなく、国道が災害等で通行止めになった場合、迂回路がなく、地域に及ぼす影響が非常に大きい。 …現在、当区間は国道112号と重用しており、国道が災害で通行止めになると近くに迂回路がなく地域に及ぼす影響が大きいと、早期に全線完成する必要がある。 …地域高規格道路の新庄酒田間は、計画路線に指定され、国道7号や47号の渋滞緩和、災害時の緊急輸送路の確保、内陸と酒田港との物流ルートの強化、庄内空港や山形新幹線の利用促進、広域的な救急医療体制の確立など地域にもたらす効果は多大なものがあり、早期の完成が待たれる。 …国道47号は交通事故、積雪、大雨により度々、交通が途絶えており、高速道路などの代替路線を持たない庄内地方は災害に脆弱な地域である。 …合併した本市にとって、新しい行政ニーズに対応しうる行財政基盤の強化が急務であり、新市の早期の一体化を図る道路網の整備が必要である。 …積雪地帯である当地域は道路の損傷が激しく、日常的な維持管理に加え、道路関連施設のストックの延命化、有効活用という観点からも大きな課題を抱えています。 …道路特定財源は過去の市町村道路整備の起債償還や平準の維持管理費用ともなっており、次年度以降が明確に示されていない。

②-2 地域の目指すべき将来像

山形県 酒田市

＊少子高齢化が本格的に到来し、高度情報化や国際化が一層進展するなど地方自治体を取り巻く状況は目まぐるしく変化しています。多様化する社会や市民ニーズに応え、本市の将来を見据えて多くの課題に的確かつ計画的に対応していく必要があります。

こうしたことから、平成19年度に策定した酒田市総合計画で、「人いきいき まち快適 未来創造都市 酒田」を本市の将来像に掲げ、施策の大綱を定めるとともに、選択と集中により取り組む「雇用創造」「市民元気」「個性創造」「まち快適」の4つの重点プロジェクトにより、その将来像の実現に向けて努力しているところであります。

＊新たな「国土形成計画」の国土像として、“多様な広域ブロックが自立的に発展する国土を構築するとともに、美しく、暮らしやすい国土の形成を図る”。また、「東北圏広域地方計画」の将来像は、“美しい森と海、人の息吹と躍動感に満ちた「東北につぼん」の創造”を掲げており、こうした上位計画の方針を踏まえ、本市の道路に関する主要プロジェクトとしては次のとおりであります。

（雇用創出プロジェクト）

地域活性化に必要な高速交通網の整備や港湾機能の充実、強化を図り、環日本海物流や観光交流を図るとともに、本市の地域産業を総合的に発展させることで、市民に働く場を確保するとともに、就業しやすい環境を整備し、市民所得の向上を図ります。

（重点施策）

定住人口が減少する中、高速道路、鉄道、空港等の高速交通網の整備は、交流人口の拡大や企業誘致、地域活性化に必要な社会基盤です。日本海沿岸東北自動車道や東北横断自動車道酒田線、地域高規格道路新庄酒田道路は、産業振興、観光振興等に大きな役割を果たすもので、ネットワーク化により広域圏域との連携と個性豊かで活力ある地域づくりに寄与する重要な路線として整備を促進します。

また、市内外を結ぶ幹線道路の整備に努め、市民生活の利便性の向上を図ります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

④道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

山 形 県 酒 田 市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	* 高速交通網の整備促進 ・日本海沿岸東北自動車道 ・東北横断自動車道酒田線 * フルインターチェンジの設置 ・地域高規格道路と高速道路の接続 ・主要地方道との接続	…高規格幹線道路のネットワーク化の確立により重要港湾である酒田港の貨物量の増大が期待できる。また、地域経済の発展にも大きく期待できる。 …相互乗り入れが可能なインターチェンジを設置することにより、市内交通の円滑化と酒田港へのアクセス向上が図られる。 …「日本海総合病院」への救急搬送の時間短縮が図られ、救急医療体制の充実が期待される。	
都市交通の快適性、利便性の向上	* 出羽大橋の四車線化 ・新「出羽大橋」の架橋 ・旧「出羽大橋」のリニューアル化	…本市川南地区は都市化や工業団地の立地により急激に交通量が増加している現状であり、出羽大橋の四車線化の完成で大幅に渋滞の緩和が期待される。	
地域特性を考慮した創意工夫の支援	* 道路整備臨時交付金による道路網整備 * 雪対策支援(積寒地域)	…通学路の安心安全確保や隘路の解消など住民生活基盤や交通安全の確保に不可欠である。 …平野部における地吹雪や山間部における雪崩対策により冬期通行の安全安心に寄与している。	